

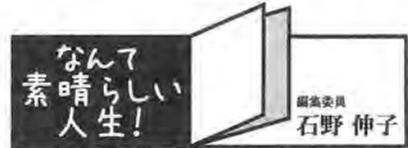


東京在住のライター、金丸弘美さん(58)から「いま、大阪です。ランチでもしませんか」と電話があった。

フリーハンドで全国800カ所以上の農村や地域活動取材してきた金丸さんのフットワークは軽い。お誘いはいつも突然。四国・高松からの帰り道に大阪に一泊してひと仕事済ませたそう。帰京前の腹「しらえに付き合ひ、楽しいひとときを過ごした」。

金丸さんの名刺の肩書は、会うたびに増える。

総務省地域創造アドバイザー、農水省ブランド化支援事業プロデューサー、明治大学農学



地域ブランドを引き出す

部食料環境政策学専任講師、高知県農業創造人材育成事業総合アドバイザー。

いずれも3、4年の間に引き受けた仕事。地方の時代とはいえないが、なかなか新しい展望が見えない時代に、金丸さんの経験があちこちから求められている。最近では、人気作家、有川浩さんのヒット作『県庁おもてなし課』の巻末インタビューに地域活性化アドバイザーのような立場で登場している。

「ボクは地方がダメとか理屈

は言いません。若者が元気で、お年寄りが生き生きと働いているところはいっぱいある。自分たちの地域にしかないものを発見して産業を作り出している場所がいま一番輝いている」

百聞は一見にしかず。行政マンには、そんな地域ブランドを発見した現場に案内する。

ユズの加工品で年間33億円を売り上げる高知県の馬路村農協。50代から70代まですべて女性スタッフで年商7000万の熊本県吉市の農家レストラン。生産から加工、販売まで一

体化して新しい付加価値を追求する三重県の農事組合法人「伊賀の里モクモク手づくりファーム」。

モクモクの取り組みには早くから注目してきた金丸さん。前夜には、新しい大阪駅ビルに出店したモクモクのレストランに足を運んだそう。「すごい行列。味に敵しい大阪の人氣にスタッフもみんな喜んでいましたよ」

金丸さんの強みはこの現場主義とネットワークにある。先だつてはテレビ番組「笑っていいとも」のスタッフから「名前が面白くてなにこれ、という郷土料理」のクイズのアイデアを求

められ、たちどころに50品を提案して驚かされた。「全国3000人のネットワークがありますから、メールで問い合わせたら一瞬で集まった」。結局番組に参加して解説までした。「何でもいんです。地方が活気づくきっかけになれば。ボクの仕事は取材で知り合った人と人をつなぎ、アイデアをつなぎ、それをまた発信すること」

最新作『地域ブランドを引き出す力』(合同出版)には、そんな成果が36の取り組みとして紹介されている。フランスの味覚教育、イタリアのスローフード運動の新しい取り組みなど海外まで足を伸ばした力作だ。

ノルウェー

【ロンドン＝木村正人】毎年12月にノーベル平和賞授賞式が行われるオスロが連続テロの標的になった。右翼過激派団体との関連が指摘される男はなぜ「平和の象徴」を狙ったのか。動機や背景はまだ明らかになっていない。

(1面参照)

がある。約1年前にはアルカイダ関連の3人が逮捕されている。

欧州刑事警察機構の報告書によると、昨年、欧州連合(EU)域内でイスラム過激派の179人が逮捕され、89人がテロの準備を進めていた。イスラム過激派組織と直接関係していたの

「第二次大戦以来の惨事」

テロ無縁の街標的

【ワシントン＝犬塚陽介】オバマ米大統領は22日、ノルウェーの首都オスロで、ノルウェーの首相ヨナス・ガストルと会談した。この

低減させる除染作業のや、避難対象となった奥南相馬市の住民らに対する丸森町内の避難所問題。

放射性物質に汚染された牧草の保管状況も確認午後には保科郷雄町長

米大統領、支援表明

【ワシントン＝犬塚陽介】オバマ米大統領は22日、ノルウェーの首都オスロで、ノルウェーの首相ヨナス・ガストルと会談した。この

宮城県入り

【ワシントン＝犬塚陽介】オバマ米大統領は22日、ノルウェーの首都オスロで、ノルウェーの首相ヨナス・ガストルと会談した。この

大和証券G 2子会社合併

大和証券グループ本社は23日、個人向け業務の大和証券と法人向けの大和証券キャピタル・マーケットの傘下2社を、平成24年4月に、合併する方向で調整していることを明らかにした。

合併後の名称は大和証券とする見通し。近く正式に決定する。重複していた企画部門などを一本化するこ

とでコスト削減を図る大和証券キャピタル・マーケットは大和証券S Cが前身。

提携先の三井住友フィナンシャルグループが40%を出資していたが、大和証券グループ本社との提携解消で大和証券グループ本社の完全子会社

生鮮食品 23日		東部市場	
品名	単価	品名	単価
カサネ	1365	カサネ	1365
...